



研究指導教授の決定と研究指導について

研究指導教授の決定（1年次）

1. 研究計画書提出

研究課題・研究内容・研究方法等について5,000字程度にまとめた「研究計画書」を、2018年5月2日（水）午後4時までに教育支援課に提出すること。

2. 研究指導教授の決定

研究科委員会において、研究計画書の内容に適切な指導教授（博士〔後期〕課程専任教員）を決定する。なお、研究課題・研究内容・研究方法等により副指導教授が必要な場合は、副指導教授を得ることができる（原則、大学院授業科目担当専任教員）。

研究指導の内容

1. 研究課題・研究内容・研究方法等に関する国内外の資料・文献についての研究指導を行う。さらに、外国の論文・資料・文献の解題、講読指導をも重視し、海外文献の読解力を身につける。
2. 専任教員を中心として実施される研究会等に正規メンバーとして参加することができる。
3. ティーチング・アシスタント（TA）として学部学生の演習指導・実習指導等に携わり、研究・教育の基礎的力量を修得する。
4. 学会等の研究発表に際してのプレゼンテーション能力を修得するとともに、学会へできるだけ多く参加する。
5. 研究課題・研究内容・研究方法等に応じて、必要な研究科授業科目を履修する。

研究論文の発表

研究計画に基づく研究成果を関係学会で1回以上報告するとともに、報告内容を研究論文としてまとめ、関係学会機関紙、本学『大学院論集』等に発表すること。

2018年度 社会福祉学専攻(博士[後期]課程)開講科目

(2018年度入学生)

履修コード	授業科目名	単位数開講年次			担当者	備考
		1年次	2年次	3年次		
9171	社会福祉学特殊研究	④			豊村 和真 K.U. ニシコイヘル	本年度開講せず
9173					田中耕一郎	
9174					中村 和彦	
9175					栗林 克匡	
9176					田澤 安弘	
	社会福祉学特殊演習 I	④			豊村 和真 K.U. ニシコイヘル	本年度開講せず
					田中耕一郎	
					中村 和彦	
					栗林 克匡	
					田澤 安弘	
	社会福祉学特殊演習 II	④			豊村 和真 K.U. ニシコイヘル	本年度開講せず
					田中 耕一	
					中村 和彦	
					栗林 克匡	
					田澤 安弘	

〔履修方法〕

社会福祉学専攻(博士[後期]課程)の修了の認定を受けるためには、備考欄に定めるところに従い12単位を修得すること。

〔学位授与要件〕

大学院博士[後期]課程に3年以上在学し、計12単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。

社会福祉学専攻 博士[後期]課程授業科目の履修と学位論文審査について



2018年度 社会福祉学専攻(博士(後期)課程)開講科目

(2016年度～2017年度入学生)

履修コード	授業科目名	単位数開講年次		担当者	備考
		1～3年次	4		
	社会福祉理論特殊研究	4			本年度開講せず
	社会福祉理論特殊演習	4			本年度開講せず
	ソーシャルワーク理論特殊研究	4			本年度開講せず
	ソーシャルワーク理論特殊演習	4			本年度開講せず
	地域福祉特殊研究	4			本年度開講せず
9177	地域福祉特殊演習	4	杉岡直人		
	家族社会学特殊研究	4	KU.ネンシュテール		本年度開講せず
	家族社会学特殊演習	4	KU.ネンシュテール		本年度開講せず
	社会保障法特殊研究	4			本年度開講せず
	社会保障法特殊演習	4			本年度開講せず
	高齢者福祉特殊研究	4			本年度開講せず
	高齢者福祉特殊演習	4			本年度開講せず
	リハビリテーション特殊研究	4			本年度開講せず
	リハビリテーション特殊演習	4			本年度開講せず
	障害者福祉特殊研究	4	田中耕一郎		本年度開講せず
	障害者福祉特殊演習	4	田中耕一郎		本年度開講せず
	精神保健福祉特殊研究	4	中村和彦		本年度開講せず
	精神保健福祉特殊演習	4	中村和彦		本年度開講せず
	障害児心理学特殊研究	4	豊村和真		本年度開講せず
	障害児心理学特殊演習	4	豊村和真		本年度開講せず
	社会心理学特殊研究	4	栗林克匡		本年度開講せず
	社会心理学特殊演習	4	栗林克匡		本年度開講せず
	臨床社会心理学特殊研究	4			本年度開講せず
	臨床社会心理学特殊演習	4	今川民雄		本年度開講せず
	臨床心理学特殊研究	4	田澤安弘		本年度開講せず
	臨床心理学特殊演習	4	田澤安弘		本年度開講せず

〔履修方法〕
社会福祉学専攻(博士(後期)課程)の修了の認定を受けるためには、備考欄に定めるところに従い8単位を修得すること。

〔学位授与要件〕
大学院博士(後期)課程に3年以上在学し、計8単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。

履修方法について

- 3年間において最低8単位を履修すること。
- 研究指導を受ける教授の「特殊研究」及び「同演習」を以下の要領で履修し、試験に合格した場合に8単位が与えられる。
「特殊研究」を1年次に履修すること。(4単位)
「同演習」を1年次から3年次に至る3年間にわたって履修し、指導教授の研究指導を受けること。(4単位)
- 上記の8単位の他に、指導教授以外の「特殊研究」を2年次あるいは3年次に履修することができる。ただし指導教授以外の「特殊演習」を履修することはできない。